

## ホットスプリングス市・花巻市姉妹都市提携25周年を記念して 10月4日から花巻市民訪問団がホットスプリングス市を訪問しました

10月4日(木)から10月10日(水)まで5泊7日の日程で、市民訪問団22名とホットスプリングス市友好会4名がホットスプリングス市を訪問しました。

ホットスプリングス訪問中は、記念式典をはじめ、これまでの交流を支えてくださった関係者や多くのホットスプリングス市民との交流を通じて、市民レベルで両市の友好の絆を深めるとともに、両市の未来を担う小中高生の相互交流を今後も継続して行くことを確認して参りました。

### ○市民訪問団訪問日程

- ・10月4日(木):ホットスプリングス市に到着
- ・10月5日(金):ASMSA(アーカンソー数理芸術学校)、商工会議所、日本酒製造所建設予定地等を訪問
- ・10月6日(土):市街地開発等を視察、夕方から姉妹都市提携25周年記念式典に出席
- ・10月7日(日):ガーデン庭園等見学
- ・10月8日(月):ホットスプリングス市からダラス市に移動し、市内を視察
- ・10月9日(火):ダラス・フォートワース空港を出発し、10月10日(水)帰国

### 【市街地再開発視察～ホットスプリングス市のリノベーションの取り組み～】

中心市街地開発視察では、中心市街地の建物のリノベーションについて説明されましたが、中心市街地のリノベーション事業を進めている本市にとっても大変参考になりました。

- (1)連邦政府国立公園局所有の医療を目的とした温泉施設が1960年代から衰退しその多くが長く閉鎖された状態となり、商業施設からも活気が失われ中心市街地の魅力が失われた状態が続いていた。
- (2)その中で近年、ホットスプリングス市民が連邦政府から温泉施設を借り受け、リノベーションして近代的な温泉施設に生まれ変わらせたり、クラフトビールの醸造所と併設レストラン施設に生まれ変わらせる動き、また、商業施設を購入してリノベーションして魅力ある店舗にするなどの動きが出てきており、市街地活性化のモデルとして全米の注目を集めている。
- (3)このように古い建物の近代化の動きを促進している要因として次の点があげられる。
  - ① 古い建物の歴史的価値を残したうえでリノベーションした場合にはリノベーションに要した費用について連邦税及び州税のタックスクレジット(税額控除)を受けられるため、リノベーションのための積極的な投資が促進されていること。
  - ② 中心市街地の古い建物にスプリンクラーの設置を義務付ける市条例を制定したことにより古い商業施設の近代化を急ぐスプリンクラー設置のための投資にも消極的であった旧所有者から古い商業施設の活用に積極的な新所有者に古い商業施設の所有権が移ったこと。

### 【姉妹都市提携25周年記念式典】

10月6日の夕方、市中心部のコンベンションセンターで開催された姉妹都市提携25周年記念式典に出席しました。パット・マッケイブホットスプリングス市長をはじめ、これまで交流に関わってこられたホットスプリングス市民約100名が出席しました。式典では本市から、ホットスプリングス市の功労者の方々への感謝状と宮沢賢治童話村に設置されているものと同じダイヤモンド型のオブジェを贈呈しました。

また、今年6月にホットスプリングス市から芸術家交流により本市に滞在されたエリン・ホリデイさんが制作し、本市に贈呈される作品が披露されました。



記念式典でのマッケイブ市長と上田市長



ホットスプリングス市へ贈呈したダイヤモンド型オブジェ

【「アーカンソー トラベラー」の証書をアーカンソー州知事からいただきました】

これは、アーカンソー州議会の承認を得て、上田市長がアーカンソー州善意大使として認められたものです。

